



第 58 回入学式 校長の言葉

神奈川県立 生田高等学校長 野田 麻由美

ただいま、入学を許可された 398 名の新入生の皆さんを迎え、本日ここに神奈川県立生田高等学校第 58 回入学式を挙げていただきますことを心よりお祝い申し上げます。

また、保護者の皆様におかれましても、お子様の成長を頼もしく感じていらっしゃるかと存じます。心よりお慶び申し上げます。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今日から皆さんは生田高校 58 期生として高校生活をスタートします。この新たな一歩を踏み出す皆さんに、3 つのことを話します。

1 : 生田高校の「不易と流行」の学びについて

「不易と流行」という松尾芭蕉の言葉があります。不易は時代が変化しても変わらない本質的なもの。流行は時代や環境に合わせて変化するもの。生田高校の「不易」は、校訓の「自由と規律」の精神。「流行」はこれからの社会で生き抜く力を育成する教育です。

本校の校訓「自由と規律」は、皆さんの人格形成の基盤となります。真の自由とは、自らの行動に責任を持つこと。そして規律とは、他者を敬い、自らを律し、目標に向かって努力する姿勢を意味します。自由を実現するためには規律が欠かせません。この両者を併せ持つ人格こそが、本校の教育理念の中心です。

令和 8 年には、本校の卒業生が 2 万人を超えました。皆さんもその一員として、生田高校の精神を受け継ぎ、未来へ繋げる存在となることを期待しています。校訓「自由と規律」を胸に刻み、充実した高校生活を歩まれることを願っています。

生田高校の「流行」とは現在行っている教育を指します。生田高校は令和 8 年 4 月スーパーサイエンスハイスクールに指定されました。科学技術の発展と探究型の学びに力を注いでいます。現代の急速な情報社会では、情報の真偽を見極め、深く思考する力が求められます。本校では、通常の授業や探究活動に加え、「S/Team サイエンスツアー」や「自然科学探究」、海外交流プログラムなど、希望者向けの多彩な学びの機会を提供しています。これらの活動を通じて、自ら学び、世界に視野を広げてください。

また、社会で生きる上で必要な力は、単なる知識に留まりません。豊かな感受性、他者と協力して物事を進める力、自らを信じる力、仲間を信じる力、そして失敗を乗り越え再び挑戦する力など、これらの資質が皆さんの人生を支える重要な要素です。学校行事や部活動を通じて、多様な経験を積み、社会性を育んでください。このような学びが、皆さんの未来を切り拓く力となることを心より期待しています。

2：「名にし負はば」という言葉について

次に古典の和歌「名にし負はば」という言葉を紹介します。この言葉は、伊勢物語に収録された在原業平の有名な和歌「名にし負はばいざ言問はむ都鳥、わが思ふ人はありやなしやと」に由来します。この和歌の意味は、「都鳥という名前を持つなら、都のことを知っているはずだから尋ねたい」というものです。「名にし負はば」とは、「その名前を持つからには、それにふさわしい役割や責任を果たすべきだ」という意味を持つ表現です。

それでは、「生田高校の生徒」という名を背負った皆さんには、どのような姿が期待されるでしょうか。本校の校訓「自由と規律」を深く理解し、それにふさわしい行動を取ること。そして、スーパーサイエンスハイスクールとして国や神奈川県から期待される人材育成の一環として、不確実で複雑な時代を生き抜く力を身につけることです。

具体的には、「自ら問いを立て、科学的根拠に基づいて多面的・多角的に探究し、他者と協働して課題を深め、論理的に解決策を創造する力」が求められます。

3：「この一期は今の一刹那にあり」という言葉について

最後に、新しいスタートをきる皆さんに鎌倉時代の禅僧 道元の言葉「この一期は今の一刹那にあり」という言葉を紹介します。一期とは一生、一刹那とは瞬きするほどの短い時間のことです。一生という長い時間も結局は一瞬一瞬の積み重ねでしかないという意味です。一瞬一瞬には動きがあり、その変化が一人の人間の人生を作る。その一瞬一瞬をどう生きているか一人ひとりが違うから、積み重ねの結果の人生も一人ひとり違ったものになる。「去年と同じ自分でこの一年を過ごすのか、それとも一瞬ごとに新しく成長していく自分として日々を過ごすのか。その気持ちの持ち方で世界の見え方は変わりますし、行動も変わります。意識と行動が変われば結果も変わります。

2026年4月、皆さんは高校生としての新たな生活が始まります。このタイミングで、新しく成長していく自分を意識し、行動してください。

皆さんは、「名にし負はば」という言葉を胸に刻み、生田高校の生徒としての誇りを持ち、校訓「自由と規律」に基づいた行動を心がけてください。そして「この一期は今の一刹那にあり」という意識を持って本校の特色ある学びを活用し、吸収しながら成長し、充実した高校生活を送ることを心から願っています。